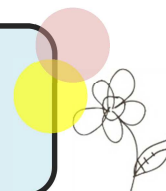


バイスタンダー（現場に居合わせた方）による心肺蘇生法の効果



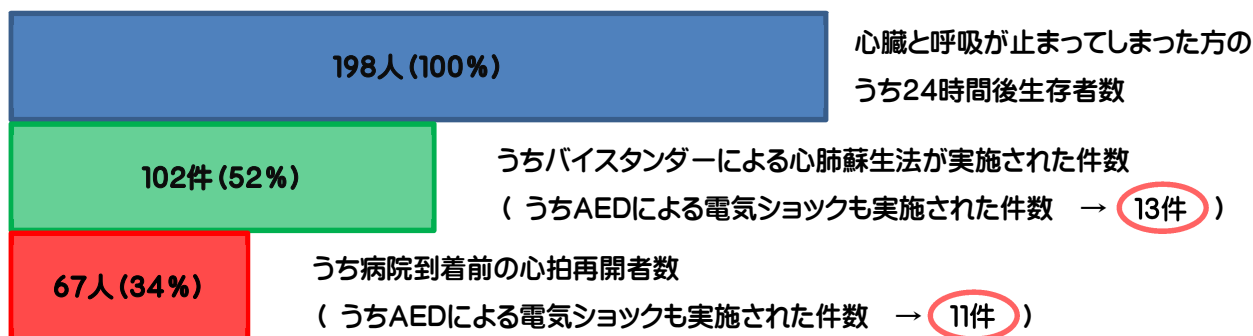
突然の心肺停止は、いつでも、どこでも、誰にでも起こりえます。

最新の統計では、その場に居合わせた方が『心肺蘇生法』と『AEDによる電気ショック』を行った場合の社会復帰率は、居合わせた方が何もしなかった場合と比べて約10倍高いという結果が出ています。

前橋市内のバイスタンダー救命実績 (H25～H28)

下の図は、心肺停止となってしまった方のうち24時間後生存者についてのデータです。約半数がバイスタンダーによる心肺蘇生法が実施されており、そのうちの半数以上は、心肺停止となった現場や病院に到着する前の救急車で心臓の動きが再開しています。

AEDによる除細動（電気ショック）が行われた方は13人いましたが、そのうち11人は病院到着前に心拍が再開しています。突然の心肺停止に対しては、バイスタンダーによる早期の心肺蘇生法とAED利用がとても重要です。ぜひ、心肺蘇生法とAEDの取扱い講習を受講してください。



※ 平成25年から平成28年までの前橋市救急搬送データより引用

心肺蘇生法とAEDの講習や高齢者向け予防救急講習のお問合せは消防局警防課まで

電話 027 - 220 - 4513

